

安全データシート

作成日 1995年5月23日
改定日 2022年5月11日
(第16版)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : レーク(10kg)
製品コード : 2045

会社名 : 株式会社コスモビューティー
住所 : 大阪市中央区内本町1丁目1番1号 OCTビル
担当部門 : 研究部
担当者 : 矢野 貴史
電話番号 : (06)7639-5361
FAX番号 : (06)7639-5368
推奨用途及び
使用上の制限 : 洗濯用粉末合成洗剤
整理番号 : 2045S16

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性(経口)
: 急性毒性(経皮)
: 急性毒性(吸入・蒸気)
: 皮膚腐食性/刺激性 区分1
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
: 呼吸器感作性
: 皮膚感作性
: 生殖細胞変異原性
: 発がん性
: 生殖毒性
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
: 誤えん有害性

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) 区分3
: 水生環境有害性 慢性(長期間)
: オゾン層への有害性

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 :  

注意喚起語 : **危険**
危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ

(レーク(10kg), 株式会社コスモビューティー, 2045S16, 2022年5月11日)

水生生物に有害

注意書き

〔安全対策〕

: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
粉じんまたはミストを吸入しないこと。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

〔応急措置〕

: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

〔保管〕

: 施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

〔廃棄〕

: 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

組成及び含有量

化学名又は一般名	含有率(%)	化管法 ⁽¹⁾	化審法 ⁽²⁾	安衛法 ⁽³⁾	CAS番号
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	17	第1種30	(3)-1906	—	25155-30-0
硫酸塩	非公開	—	非公開	—	非公開
炭酸塩	非公開	—	非公開	—	非公開
ケイ酸塩	非公開	—	非公開	—	非公開
再付着防止剤	非公開	—	非公開	—	非公開
蛍光増白剤	0.1未満	第1種199*	非公開	—	16090-02-1
酵素	0.1未満	—	—	186*	9014-01-1

(1) 化学物質排出把握管理促進法 官報公示整理番号(平成21年10月1日施行)

(2) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

(3) 労働安全衛生法 第57条 施行令第18条第1号別表第9 (名称等を通知すべき危険物及び有害物) 政令番号(令和3年1月1日施行)

—: 該当しない

*: 対象となる濃度下限値(裾切値)未満のため該当しない

4.応急措置

吸入した場合

: 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに換気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

: 水でよく洗い流すこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

: 目を擦らず直ちに清浄な水で15分以上眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまでよく洗浄すること。

(レーク(10kg), 株式会社コスモビューティー, 2045S16, 2022年5月11日)

- この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

5.火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 作業の際には保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護マスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
真空中で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱いは換気のよい場所で行うこと。
作業場の換気を十分行うこと。
取扱いの都度、容器を密閉すること。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取扱う。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

- 安全な保管条件 : 吸湿性があるので湿気を避け、涼しい場所で密封して保管すること。
直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。
酸と一緒に保管しないこと。
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
施錠して保管すること。
- 容器包装材料 : 開封した容器で再び保管する時は、密封をよく確かめること。
他の容器に移し替えて保管しないこと。

8.ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

- 日本産業衛生学会 : 設定されていない
- ACGIH : STEL Ceiling ; 0.00006mg/m³【サチライシン】

(レーク(10kg), 株式会社コスモビューティー, 2045S16, 2022年5月11日)

設備対策 : 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 必要に応じて保護マスクを使用する。
 手の保護具 : 保護手袋を使用する。
 眼の保護具 : 保護眼鏡を使用する。
 皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて保護衣を使用する。

9.物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 粉末
 色 : 白色
 臭い : わずかに特異臭
 融点／凝固点 : データなし
 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
 可燃性 : 不燃性
 爆発限界及び爆発上限界
 ／可燃限界 : データなし
 引火点 : 引火性なし
 自然発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 pH(1%水溶液) : 10 以上
 動粘性率(25 °C) : 該当しない
 溶解度 : 水に可溶(一部不溶成分あり)。
 n-オクタノール／水分分配係数 : 該当しない
 蒸気圧 : データなし
 密度及び／又は相対密度(25 °C) : データなし
 相対ガス密度 : 該当しない
 粒子特性 : データなし

10.安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の条件では安定。
 危険有害反応可能性 : 強酸化剤との接触を避ける。
 避けるべき条件 : 高温(40 °C以上)になる場所、湿度の高い場所では保管しない。
 混触危険物質 : ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
 危険有害な分解生成物 : 現在のところ有用な情報なし。

11.有害性情報

急性毒性

- 経口 : ▽直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは、ラットを用いた経口投与試験のLD50 438 mg/kg (RTECS (2006))、500 mg/kg、2,000 mg/kg (IUCLID (2000))に基づき、計算式を適用して得られた 438 mg/kg から、【区分4】。
 ▽ケイ酸塩は、マウスのLD50値 1200~1700 mg/kg (SIDS (Access on May 2010))に基づき、【区分4】。
 ▽炭酸塩のラットのLD50 = 2800mg/kg、および4090mg/kg (SIDS (access on July 2008))はいずれもJISの分類基準の【区分外】に該当する(国連GHSでは【区分5】に該当)。

(レーク(10kg), 株式会社コスモビューティー, 2045S16, 2022年5月11日)

	▽以上のデータから、本製品としての急性経口毒性推定値(ATE)は3,000~4,000 mg/kgとなり、2,000 mg/kgを超えることからJISのGHS分類基準を採用し【分類できない】とした(※国連GHSの分類では【区分5】)。
経皮	: ▽炭酸塩はウサギLD50 > 2000mg/kg(SIDS(access on July 2008))により【区分外】とした。 ▽以上のデータより、本製品としての急性経皮毒性推定値(ATE)は5,000mg/kgを超えるため【分類できない】とした。
吸入(粉塵及びミスト)	: ▽炭酸塩はラットLC50(4時間換算)1.2 mg/L(SIDS(access on July 2008))より【区分4】であるが、本製品としての急性吸入毒性推定値は5 mg/Lを超えるため【分類できない】とした。
皮膚腐食性/刺激性	: ケイ酸塩は【区分1】、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは【区分2】に分類されているが、ケイ酸塩の含有率が5.0%以上であるため、【区分1】とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ケイ酸塩および炭酸塩は【区分1】、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは【区分2A】、酵素(サチライシン)は【区分2B】に分類されており、ケイ酸塩と炭酸塩の合計含有率が10%以上であるため、【区分1】とした。
呼吸器感受性 又は皮膚感受性	: 酵素(サチライシン)は呼吸器感受性【区分1】に分類されているが、含有率が呼吸器感受性のカットオフ値(1.0%)未満のため【分類できない】とした。
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 酵素(サチライシン)は【区分1】(呼吸器系)、ケイ酸塩は【区分2】(神経系)、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは【区分3】(気道刺激性)、炭酸塩は【区分3】(気道刺激性、麻酔作用)に分類されており、【区分1】の酵素(サチライシン)は1.0%未満、【区分2】のケイ酸塩は10%未満、【区分3】の直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムと炭酸塩の合計含有率が20%以上であることから、【区分3】(気道刺激性、麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 情報なし
誤えん有害性	: 情報なし

12.環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期 (急性)	: 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50=3.5mg/L(EHC169, 1996)他から【区分2】に分類されており、含有率が【区分2】のカットオフ値(25%)以下であり、【区分3】の判定基準「(10×区分2) > 25%」には該当するため【区分3】とした。
水生環境有害性 慢性 (長期間)	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制

国連分類 : クラス9:その他の有害性物質

(レーク(10kg), 株式会社コスモビューティー, 2045S16, 2022年5月11日)

国連番号 : UN3077
 品名(国連輸送名) : 環境有害物質(固体)
 容器等級 : III

国内規制

陸上輸送 : 労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 直射日光・高温多湿を避ける。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 第1種指定化学物質 政令番号 第30号【直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)】17%
 (平成21年10月1日施行)

労働安全衛生法

危険物 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物
 (令和3年1月1日施行)

名称等を通知すべき危険物及び有害物
 (令和3年1月1日施行)

毒物及び劇物取締法 : 非該当
 (令和4年2月1日施行)

消防法 : 非該当

船舶安全法 : 有害性物質 分類9

航空法 : その他の有害物件 分類9

16.その他の情報**参考文献**

原料メーカーSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRIP)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

改訂情報

1995年5月23日(第1版) : 初版発行

2004年10月29日(第4版) : 配合成分変更のため改訂

2007年8月9日(第5版) : 社名変更による改訂

2007年12月5日(第6版) : 書式変更(JIS Z 7250 準拠)

2009年1月30日(第7版) : 成分(酵素)追加による改訂

2009年10月9日(第8版) : 化管法(PRTR法)改正による改訂

2011年3月8日(第9版) : GHS対応版へ改訂

2011年5月20日(第10版) : 3.組成および成分情報 修正

2011年11月9日(第11版) : GHSデータ再分類による見直し

(レーク(10kg), 株式会社コスモビューティー, 2045S16, 2022年5月11日)

- 2013年8月21日(第12版) : 有害性情報更新
- 2015年1月26日(第13版) : SDSへ改訂(JIS Z 7253 準拠)および住所変更
- 2016年11月18日(第14版) : 労働安全衛生法改正(平成29年3月1日施行)による改訂
- 2017年11月17日(第15版) : 商品名変更による改訂(旧品名:レークカラー)
- 2022年5月11日(第16版) : 労働安全衛生法改正(令和3年1月1日施行)および毒物及び劇物取締法改正(令和2年7月1日施行)、日本工業規格の改正(JIS Z 7252:2019 および JIS Z 7253:2019)による改訂、オフィス移転による住所等変更

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。

記載内容の問合せ先 : 株式会社コスモビューティー 研究部
電話番号 (06)7639-5361
FAX番号 (06)7639-5368
